

宇陀市人推協だよ

宇陀市人権セミナーを今年度も4回開催しました

（人権教育指導者養成講座 主催：宇陀市 共催：宇陀市人推協）

第1回人権セミナー 6月15日（土）午前 於、宇陀市農林会館

開講あいさつに続き、講師にお迎えした、子ども支援 あお 代表の楠本杉子さんより、「合理的配慮を日常に」という演題で障がい者の人権を中心に講義いただき、研修を深めました。「合理的配慮」についての事例や障がいにも

とづく不利益な取り扱いに関することなどをわかりやすくお話いただきました。相手の困り事をとらえることや、みんなが社会のルールを守ることが大事であるということ、そして、障がいがあるなしにかかわらず、誰にとっても安心してくらすことができる社会環境づくりが大切であるということなどについて、県条例などをふまえ、具体的な事例を数多く示していただき、テーマに沿ってとてもわかりやすくお話をうかがうことができました。



第2回人権セミナー 8月23日（金）夜間 於、宇陀市役所

「参画ネットなら」より、松村徳子さん・風味良美さんの二人を講師に迎え「DVなどの暴力の加害者にも被害者にもならないために」という演題で講義を進めていただきました。DVなどの暴力の芽は、わたしたちの日常生活に潜んでいるものかもしれません。家族の中で互いの人権を尊重できている

のか、身近なパートナーとの関係は対等であるのかなど、自分自身の振り返りや意識の点検が大切であることを確かめ合うことができました。また、DVの存在は、児童虐待と一体となっていることや子どもの心に計り知れない影響を与えていることなど、DVの暴力の実態をDVDアニメや具体的な実態数値を示しながら、ていねいに伝えていただきました。



第3回人権セミナー 9月14日（土）午前 於、宇陀市役所

「おおくぼまちづくり館」保存事業運営委員会の吉住光洋さんを講師に迎え、『「いのち」の学習～食肉を通して考え、牛の革でコースターを作ろう～』という演題で、皮革産業や食肉に携わる人びとへの偏見などの問題にかかわる講話とレザークラフト体験を行いました。わたしたちは、日々、いろいろな生き物のいのちをいただき、自らの生命を維持しています。また、くらしの中で、様々な革製品を使っています。しかし、肉をおいしくいただき、革製品を利用している



ことなど、部落差別のひとつの側面についてふれていただきました。DVD「白なめし」では、牛革加工の



工夫や苦勞がよく伝わりました。講義のあと、グループに分かれ牛の革でコースターを作る体験を行いました。木槌を用いて、先端に模様のついた金具を打ち付け、思い思いの作品を仕上げました。



第4回人権セミナー 11月9日(土)午後 於、宇陀市中央公民館



奈良県立同和問題関係史料センター所長の奥本武裕さんを講師にお迎えし、講話と大宇陀地域の人権・歴史スポットを巡るフィールドワークを実施しました。講話では、「人権三法」のおさえやネット上の部落差別の問題、部落史の見直しによる部落問題のとらえ方や教科書記述の変化、地域社会の特質など、部落問題にかかわる大切なすべき内容についてふれられました。そのあと、会場

を出て、講師の説明を受けながら、大宇陀地域の人権・歴史スポットを徒歩にて巡りました。巡回コースは、①千軒舎 ⇒ ②久保医院 ⇒ ③森野旧薬園 ⇒ ④黒川本店 ⇒ ⑤神楽岡神社 ⇒ ⑥薬の館 ⇒ ⑦春日神社 ⇒ ⑧吉光尼道標 ⇒ ⑨恵比寿神社 ⇒ ⑩黒門 ⇒ ⑪光明寺 と訪ねました。天候にも恵まれ、郷土の再発見にもつながる研修として、秋の日のひとときを過ごすことができました。

役所などへの同和地区問い合わせ差別事象が相次いで起きています

宇陀市役所にも同様の問い合わせが・・・

近年、県や市町村の役所などに対して、「〇〇は部落ですか」「同和地区の場所を教えてください」などの問い合わせ事象が相次いで報告されています。電話だけでなく直接来庁しての問い合わせも起きています。こうした事案は、いずれも「どこが部落か」「誰が部落出身者か」ということにかかわる差別問題で、ほとんどの人は、「どこが部落か」ということについて正確な知識を持っておらず、誰が部落出身者かを特定することが困難であるにもかかわらず、部落や部落出身者を特定し、忌避・排除しようとする社会意識が存在することによって生じていると考えられます。また、部落出身者とみなされたくないという意識が人びとをしばっています。

先日、宇陀市役所人権推進課にも、同和地区問い合わせ電話が入り、職員が対応する事案がありました。

「少しかがいたいのですが、〇〇という大字がありますね」という問いかけから入り、近隣の地理や施設情報を述べた後、「こんなことどこに聞いていいのかわからないので、役所に尋ねようと思ったのですが。〇〇のあるところの左側には、何軒か集落がありますね。そこはいわゆる『部落』と言われているところでしょうか」「私は、気にしていないのですが、近くに土地の購入を検討しているものですから」・・・

との内容です。こうした問い合わせは、差別にあたることや答えることができない旨を伝えて、電話を終えていますが、部落に対する差別意識が依然根強く存在していることが、あらためてうかがえます。この事実に関して市理事者や市職員で情報共有するとともに、関係機関・団体に報告を行うなど対応を進めています。わたしたちの今後の取り組みにもふまえていかなければなりません。

当面の集会・研修の予定

- 12月 4日(水) 奈人推協 **ブロック別研修会** 13:30～ 於、高取町リベルテホール(各地区参加要請者)
- 12月 5日(木) 市人推協 **第3回理事会** 19:00～ 於、宇陀市役所 (役員・事務局)
- 12月 7日(土) **宇陀市男女共同参画集会** 13:30～ ひとり芝居と弾き語りライブ 於、宇陀市文化会館(たくさんのご参加を)
- 12月10日(火) 第53回 奈良県人権教育推進協議会 **人権問題講演会** 13:30～ 於、新庄マルベリーホール(各地区参加要請者)
- 1月10日(金) 奈人推協「**新年のつどい**」及び**理事・事務局長合同会議** 13:30～ 於、いかるがホール(会長・事務局)